

●はじめに●

佐々町総合ハザードマップは、住民の皆さんが地域の防災を考えるために役立つ情報をまとめたものです。地震や水害などの自然災害は、いつ発生してもおかしくはありません。想定される災害を知り、いざという時、あわてず行動できるように、この冊子を使って家族や地域で話し合しましょう。

住民の皆さんの生命を守る局面で最も大切なことは、住民の皆さん自身の力であるといわれています。

災害による被害を少しでも軽減するために、行政が行う防災対策である「公助」とともに、自分の命は自分で守る「自助」、地域の安全は地域で守る「共助」を高めることが防災・減災の基本になります。



住民の役割

- 落ち着いて自分の身を守る
- 家族を守る
- 地域の地震や水害について知る
- 防災知識を身につける
- 災害・被害情報の収集



住民の役割

- 協力して消火・救出活動
- 地域防災活動の推進

事業所の役割

- 顧客、従業員などの安全確保
- 地域との助け合い



行政の役割

- 防災マップなどの作成及び公表
- 被害想定・被害軽減策の検討
- 地域防災体制の仕組みづくり

あなたと家族は大丈夫？

どうやって情報を入手するの？

共通編……P6

避難はどうするの？

まずは避難について考えよう
共通編……P7

大雨が降るとどうなるの？

風水害編……P9

大雨のとき、どのように避難するの？

風水害編……P15

地震災害から命を守るためには？

地震災害編……P33

日頃からの備えは？

日頃からの備え……P37



災害に「負けない」地域づくり

「災害に強く、生活の安全が守られているまち」をめざして

近年発生した東日本大震災や熊本地震などの災害から、自然災害の脅威を改めて思い知らされました。

また、異常気象などの影響により予想をはるかに上回る局地的な集中豪雨が全国各地で頻繁に発生しています。

これらの災害による被害を最小限にとどめるためには、町民一人一人が「自分の身は自分で守る」、そして「自分たちのまちは自分たちで守る」という心構えが大切であり、人と地域のつながりが必要になります。

このたび、このようなことを踏まえて「総合ハザードマップ」を作成しました。

このマップには、皆さんがお住まいの地域にどのような災害の危険性があるかを認識していただくための情報や災害時に注意すべきことなどをわかりやすくお示ししています。

このマップをご家庭の目につく場所に備えていただき、日頃から災害に対する心構えや災害に対する取り組みにご活用していただきますようお願い申し上げます。

平成31年3月

佐々町長

古庄 剛